

別記様式

会 議 録

会議の名称	平成 29 年度第 2 回 大平地域会議
開催日時	平成 29 年 5 月 25 日 (木) 午後 6 時 33 分 開会 午後 8 時 35 分 閉会
開催場所	大平総合支所 新館 2 階 第一・第二会議室
出席者氏名	赤澤 美智子 伊藤 宏幸 尾花 隆男 川島 孝宣 川瀬 悦子 黒田 愛美子 佐山 晃尉 関根 淑子 滝田 由紀子 永島 匡 永田 英人 長山 安隆 平井 良三 藤崎 英治 藤野 晴彦 藤原 美恵子
欠席者氏名	富山 勝也
事務局職員職氏名	総合政策部長 茅原 剛 大平地域まちづくりセンター所長 (地域づくり推進課長) 茂呂 浩司 同 課長補佐 小林 勝利 同 主査 戸田 良訓 同 主査 田中 佳代
その他出席者等	なし
会議事項	・ 総合計画後期基本計画における地域計画作成について【継続】 ・ 地域予算提案制度取扱事業について ・ その他
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0 名
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
●事務局	1. 開 会
◆会長 ●部長	2. あいさつ (会長あいさつ、総合政策部長あいさつ)
●事務局	3. 総合計画後期基本計画における地域計画作成について【継続】 総合計画後期基本計画における地域計画作成について資料に基づき説明。
◆会長	「医療福祉モールの整備促進」については、整備完了により削除するという ことでよろしいか。
●事務局	大平総合支所職員駐車場の東側が「医療福祉モール」だが、既にクリニックや 介護施設等が建設され、2ヘクタールの敷地の全てが売却済みということで、 総合計画にある「医療福祉モールの整備促進」については削除するという ことでよいと思う。

◆会長	<p>ここにある計画以外で、ぜひこれは盛り込んでほしいというものがあれば意見を出したいと思うが、どうか。</p>
●事務局	<p>総合計画は10年間で、基本的に後期の5年間は前期計画を踏襲するという考え方であるので、特段、これをというのがなければこのままでよいのではないかと思う。</p>
◆委員	<p>「大平運動公園施設の充実と大平運動公園を拠点とした総合スポーツの振興」について、「施設の充実」の具体的な計画はあるのか。</p>
●事務局	<p>総合計画は市の最上位計画であり、構想的なものの重要な位置付けになっているので、具体的なものについては、今後スポーツ関係の所管課で話し合っていくものである。</p> <p>もう1つ、先ほどの説明で「産業誘導エリア（国道50号沿線）への企業立地等に向けた調査・研究」については、総合計画の下にある都市計画マスタープランの図面を配布したが、総合計画では伯仲の最南端までゾーニングされているのに対し、都市計画マスタープランはその北側の県道と泉間々田線までとなっている。この違いに関しては、どちらかで整合性を図っていただくように、事務局レベルで指摘させていただきたい。</p>
◆会長	<p>ただ今の事務局の説明どおり、了承するという事によろしいか。</p>
◆全委員	<p>《了承》</p>
●事務局	<p>4. 地域予算提案制度取扱事業について 各委員より提案のあった事業について、事務局より説明があった。</p>
◆委員	<p>ホテルの里について、現在はどんな団体がどのような活動をしているのか。</p>
●事務局	<p>設立当時の組織は現在ない。3～4年前からNPO 南山麓友の会へ補助金がでており、それ以前もイベントを実施する際は、人件費を含めかなりの経費がかかっていた。イベントも徐々に高齢化が進み、実施できなくなり、現在はホテルの住む里山環境整備のため、NPO 南山麓友の会へ補助金が出ている。主にホテルの餌となるカワナ等を飼っていただき環境整備をしている状況である。</p> <p>人が生活している近くでホテルを生息させるというのは難しく、西山田でも、治山治水の関係で砂防ダムを造り、沢は三面張りのコンクリートで整備する等、昔と比較すると変化してしまっている。ホテルにとっては水路には草が生えていて自然に近い環境がよいが、大雨の際の被害を考えると難しいと思う。</p> <p>しかしながら、現在もNPO 南山麓友の会に補助金が出ているので、引き続き環境整備をしていただけたらと思う。</p> <p>ホテルに関するイベントについては、市内では唯一、岩舟町観光協会で開催して</p>

	<p>いる。以前は都賀の大柿でもホテルのイベントを実施していたが、現在はやめてしまった。</p>
◆委員	<p>現在もいらか自然に生息しているホテルがいるが、水が少ないのでなかなか難しい。</p>
◆委員	<p>災害時の避難者名簿について、この名簿の作成は終了しているのか。また、ハザードマップはいつ頃作成されるのか。</p>
●事務局	<p>その他参考資料の 31 頁、避難行動支援者名簿はできている。対象者は資料のとおりだが、一方で、地域支え合い活動対象者名簿もあり、こちらの対象者の範囲の方が広く、今後見直しをかけ名簿を一本化する予定となっている。</p> <p>また、ハザードマップについては、今後国県の浸水想定区域の見直しが実施される予定であり、それを受けて新しいマップ再構築すること。</p> <p>予定では平成 30 年度に作成することとなり、マップの作り方についても、危機管理課において今後検討していくとのこと。</p> <p>永野川より東に住んでいる方にとっては、永野川が渡れなくなった時、どこに避難すればよいのかというのは、非常に心配である。場合によっては他市へ避難することも考えていかなければならないのでは、という意見もある。また内水氾濫についてはどのように把握をするのか等の課題もある。</p>
◆委員	<p>小規模での避難経路を示したマップの作成が必要かと思われる。自治会での防災訓練も年に 1 回やるかやらないかの状況なので、自治会単位の詳細なマップが必要かと思う。</p>
●事務局	<p>基本的には、自治会単位で自主防災組織を立ち上げていただき、その活動の一環として、そこで詳細なマップを作成していただければと考えている。自主防災組織の設立には市からの補助金や通年の活動費も出るなので、それらを活用して作成していただければと思う。</p>
◆委員	<p>車高の低い車などでは避難所に行くことも不可能となるし、地域によって状況は全く違うので、やはり地元の自主防災組織と連携しながら進めていくことが重要である。</p>
●事務局	<p>提案No.3 の外国人とのトラブルとはどのようなものか。</p>
◆委員	<p>ゴミの分別を守っていただけないことがある。カレンダーをもらっていない等の周知不足もある。</p>
●事務局	<p>所管課からは、携帯アプリで調べることができるようにすると聞いている。曜日別のカレンダーについても、5 ヶ国語に対応をしたものを 7 月初旬には配布できる</p>

	<p>ように進めているとのこと。</p>
◆会長	<p>その他、補足等があるか。</p>
◆委員	<p>万本桜については、桜峠の近辺から部分的に整備をしたいと考えている。そこから片岡山方面に進めていければと思う。数年前に片岡山の中腹に桜を植えたことがあるが、やはりあまり目立たず、手入れが行き届かず枯れてしまった。山頂に植えられれば良いと考える。</p>
◆会長	<p>提案No.18 の健康快道は、大平運動公園のウォーキングコースを整備した経緯から、大平運動公園に設置するというようなイメージか。</p>
◆委員	<p>身近な地域内の公園に設置するイメージだった。 近年の少子化等の影響で、地元の公園利用者が少ない中、高齢者の外出するきっかけづくりとして提案したもの。</p>
●事務局	<p>健康快道は製品自体の価格の他に、運搬・組み立て等の費用がかかる。その他に大平運動公園には、現在背を伸ばすための器具がある。健康快道の耐久性は15年程度で、劣化した場合の修理は、パネルごとの取り替えが可能とのこと。</p>
◆委員	<p>昨年度大平運動公園のウォーキングコースが整備されたので、同じ運動公園内がよいと思う。</p>
◆委員	<p>提案No.8の「あったかもちぎ体操」は、普段一人ではなかなか実践できないような運動を、高齢者が指定された場所に集まることによって、継続的に実施できるというもの。 老人クラブだけでなく、実施団体も様々だが、半年過ぎると使用器具（バンド）は自己負担となってしまう。この体操は継続することが重要であり、効果が目に見えるまではやはり長い時間を要するし、それがやがて医療費の削減につながるのではないか。 大した金額ではないが、自己負担ならばやめようとする人も少なくないと思う。継続していただくためにも、無償供与を提案したい。</p>
●事務局	<p>次回の会議までに、所管課や金額などを含めた具体的な資料を作成したい。</p>
◆会長	<p>では、そのような資料を次回の会議でお示しいただくということよろしいか。</p>
◆全委員	<p>《了承》</p>
●事務局	<p>5. その他 ・スケアードストレート方式による交通安全教室の実施について</p>

- ・子育て世代ふれあいトークのチラシの配布について
- ・大平地域会議だより【第7号】について

6. 閉 会